

令和元年度 十勝川中流部市民協働会議 活動記録 (10)

帯広工業高校との流木成分変化試験

日時	令和元年8月6日 (火) 13:00~16:30
場所	現地確認：光南水辺の楽校 (札内川) 水質試験：帯広工業高校 1F実習棟
内容	<p>この試験は平成29年度から始まり、今年で3年目となります。平成28年の出水で発生した流木を、一般廃棄物として処理をせずに時間の経過とともに腐食して自然に戻るまでの過程を調査したいとの志を受け、その活動に対して支援しています。</p> <p>今回初めて流木調査を実施する帯広工業高校の生徒に現地で流木調査の概要を説明しました。その後、帯広工業高校へ移動して木材成分変化試験を行いました。</p>
参加者	帯広工業高校 環境土木科3年生 3名 教員1名 アークコーポレーション株式会社 4名 十勝川中流部市民協働会議 1名

試料木の暴露環境 (4箇所)



土壤に非接触



既存林の林床



礫質土に接触



流木塊中

現地確認の状況



平成29年度から平成30年度までの調査結果の傾向や今年度実施する調査項目の説明を現地（光南水辺の楽校）で行いました。

木材成分変化試験の状況（pHとECの計測）



調査地に存置している試料木から木片を切り出し、室内で細かく砕き50g（木質の重量）分を採取し、5倍（250cc）の水道水に一昼夜浸漬し、現地確認後に帯広工業高校に移動して水素イオン指数（pH）及び電気伝導率（EC）を計測しました。